

令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	環境保全への取組みの促進				予算施策コード	kk10	
担当部局名	県民環境部	環境局	環境政策課	評価責任者	課長 吉田 万弓	連絡先	3493

1 施策の内容

施策の目標	環境教育・学習の充実や環境保全活動の促進等により、県民誰もが環境とのつながりを意識し、自主的・主体的に環境に配慮した行動をとることができる社会の実現を目指す。
これまでの取組み	<p>県民誰もが環境に関心を持ち、環境保全活動に取り組める社会を実現するため、</p> <p>①県民に対しては、県体験型環境学習センターの運営、えひめ環境大学の開催、環境マイスターの派遣等により、環境教育・学習の充実を図る。</p> <p>②環境活動団体に対しては、愛媛県「三浦保」愛基金の活用等による助成や顕彰を行い活動の活性化を図るとともに、各主体の連携強化を図る。</p> <p>③事業者に対しては、環境影響評価制度や環境保全資金融資制度により、経済と環境が調和する仕組みづくりを推進する。</p> <p>④環境白書・ホームページ「えひめの環境」等による環境情報の提供を行う。</p> <p>⑤環境創造センターによる先進的研究に積極的に取り組むことにより、環境先進県の実現を図る。</p>

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	環境教育・学習を受けた人数				B	環境NPO設立数					
選択理由	県民への環境教育・学習の提供機会を計る客観的指標であるため				選択理由	県民の環境保全活動意識の高まりを計る客観的指標であるため					
算定方法	環境マイスター利用者数、こどもエコクラブ登録者数、環境大学受講者数、体験型環境学習センター来館者数の合計				算定方法	年度末における県内環境NPO数(内閣府NPOホームページによる)					
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係	中	指標の種類(ストック/フロー)	ストック	指標の種類(プラス/マイナス)	+

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	人			団体			千円					
元年度	25000	16581	66.3%	160	164	102.5%	111,781		94,119	17,662		21,781
2年度	25000	8174	32.7%	165	166	100.6%	118,419	5,884	94,136	18,399	111,095	22,330
3年度	25000	7653	30.6%	165	163	98.8%	118,635		100,154	18,481	108,946	21,780
4年度 目標値	25000			165			114,792		96,954	17,838		
最終目標	前年度より増加			前年度より増加								

4年度当初予算

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	環境教育・学習の充実や環境保全活動の促進を図るためには、環境保全意識の醸成に向けて、情報提供や広報啓発活動、機会の提供、指導者の育成・派遣など、県の多面的な関与が必要である。 また、環境影響評価は、大規模開発による環境への負荷をできる限り回避するため、法律・条例による公的関与が義務付けられている。				
中							
成果指標A		説明	多様化する環境問題について、多くの県民が関心を持って環境学習に取り組んでおり、県民の環境保全意識は年々高まっている。 令和元年度は、えひめ環境大学の講義テーマを県民の関心の高いものとするなど工夫を試みたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、体験型環境学習センターの来館者が減少したため、微増となった。令和2年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、えひめ環境大学の受講数の半減や、環境マイスターの一定期間派遣中止のほか、体験型環境学習センターの休館に伴い来館者が減少したため、大幅に落ち込んだ。 令和3年度は、環境マイスターの派遣方法を見直し、webでの対応を可能としたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、えひめ環境大学の中止や、環境マイスターの一定期間派遣中止などにより、前年度より大きく落ち込んだ。				
成果動向	順調でない						
成果向上余地	成果向上が可能						
成果指標B		説明	環境NPO数は着実に推移しており、県内での環境保全活動の高まりは目標を十分達成している。				
成果動向	順調・向上						
成果向上余地	成果向上が可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	1.79	横這い	成果向上余地	1.71	成果向上が可能	

今後予測される環境変化	今日の環境問題は、生活排水や廃棄物などの身近な問題から、自然環境や生態系の破壊、地球温暖化など人類の生存を脅かす地球規模の問題まで複雑・多様化し、国だけでなく地域を挙げた取組が重要となっており、行政、県民、事業者、NPOなど、すべての主体が一体となり、環境負荷の少ない環境先進県の創造に努めていく必要がある。
-------------	--

3 施策の今後の方向性

<p>低炭素社会の実現、循環型社会の構築、生物多様性の保全など近年の環境課題に適切に対応するため、令和2年2月に策定した「第三次えひめ環境基本計画」に基づき、県民の環境意識をさらに高め、県民総ぐるみで環境保全活動に取り組むことができるよう、今後も多様な場において、子どもから高齢者まで幅広い年齢層に応じ、環境教育・学習の充実や環境保全活動の促進のための施策を継続していく必要がある。 また、環境保全資金融資制度や環境影響評価制度などを通じて、事業者の環境保全への取組みを進めていく必要がある。</p>
--

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

										予算施策名				kk10	環境保全への取組みの促進					
1 環境保全資金融資制度運用費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり				
指標種類1	指標名称1	単位	計画	5	5	5	5	事業費計	77,282	77,879	77,862	78,508	評価	平成29年度から「地球温暖化対策枠」（貸付金利0.50%）を設けた結果、毎年度、融資の貸付け実績がある。						
成果	+ 70-	融資件数	件	実績	2	2	3	国費												
				達成率	40.00%	40.00%	60.00%	その他	75,000	75,000	75,000	75,000								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	10	10	10	10	県費	2,282	2,879	2,862	3,508								
活動	+ 70-	制度の問い合わせ件数	件	実績	10	11	10	事業費計	75,840	75,894	76,018	見直し方向性					当該融資の更なる活用を図るため、令和4年度は、「地球温暖化対策枠」の拡充及び取扱金融機関の追加を行うこととしている。			
				達成率	100.00%	110.00%	100.00%	国費												
指標種類3	指標名称3	単位	計画					その他	75,000	75,000	75,000									
活動	+ 70-		件	実績				県費	840	894	1,018									
				達成率	-	-	-	人役	0.1	0.1	0.2									
実施期間	初期	終期	事業の概要					人件費	681	677	1,210									
	S45	予定・見込があれば記入	金融機関に対し、貸付原資の預託及び利子補給を行うことにより、中小企業者の省資源・省エネルギー施設等の整備等のほか、環境ISO14001等の認証を取得する際の資金の融通を円滑にし、環境に配慮した事業活動の推進を図る。																	
2 「三浦保」愛基金環境保全活動支援事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度		R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地				2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	30	30	30	30	事業費計	16,500	16,500	16,500		16,500	評価	今後も周知広報の方法を工夫するなどして、応募団体の増加及び新規応募団体の増加に努めることとしている。近年は地球温暖化防止やエネルギー対策など環境問題への関心が非常に高まっていることから、成果向上の余地はある。					
成果	+ 70-	公募事業の応募団体数	団体	実績	30	29	29	国費												
				達成率	100.00%	96.67%	96.67%	その他	16,500	16,500	16,500	16,500								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	19	19	19	19	県費												
活動	+ 70-	公募事業の採択団体数	団体	実績	24	25	25	事業費計	15,833	15,509	15,355	見直し方向性	このまま継続							
				達成率	126.32%	131.58%	131.58%	国費												
指標種類3	指標名称3	単位	計画	7	7	7	7	その他	15,833	15,509	15,355									
活動	+ 70-	顕彰事業の被表彰者数	団体・人	実績	7	7	6	県費												
				達成率	100.00%	100.00%	85.71%	人役	0.5	0.5	0.5									
実施期間	初期	終期	事業の概要					人件費	3,403	3,383	3,025									
	H20	予定・見込があれば記入	「三浦保」愛基金を活用し、環境保全又は自然保護に係る活動を行う非営利団体に対し、公募、審査のうえ補助金を交付し、また、本県の環境保全や自然保護に積極的に取り組んでいる個人や団体を表彰する活動を支援する。																	
3 環境創造センター事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度					R4年度	成果動向	2成果低迷している	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	100	100	100	100	事業費計	5,117	5,256	5,361					4,132	評価	新型コロナウイルス感染症拡大により、開催時期を延期したが、再度感染が拡大したため、中止せざるを得なかった。受講申込者数自体は、定員を超えており、一定の向上余地はある。		
成果	+ 70-	えひめ環境大学修了者数	人	実績	54	51	0	国費												
				達成率	54.00%	51.00%	0.00%	その他	771	787	787	787								
指標種類2	指標名称2	単位	計画	1	1	1	1	県費	4,346	4,469	4,574	3,345								
活動	+ 70-	環境創造センター研究数	件	実績	1	1	1	事業費計	4,451	2,493	615	見直し方向性	このまま継続							
				達成率	100.00%	100.00%	100.00%	国費												
指標種類3	指標名称3	単位	計画	5	5	5	5	その他	538	445	3									
活動	+ 70-	えひめ環境大学開催講座数	講座	実績	5	5	0	県費	3,913	2,048	612									
				達成率	100.00%	100.00%	0.00%	人役	0.3	0.3	0.3									
実施期間	初期	終期	事業の概要					人件費	2,042	2,030	1,815									
	H12	予定・見込があれば記入	バーチャル研究所(国内外の研究所及び研究者、環境NGO等とのネットワーク形成、連携、情報交換)としての環境創造センターの運営と、環境保全活動者などを対象に、より高度な環境知識の修得を図るえひめ環境大学を開催する。																	

4 体験型環境学習センター管理運営費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	2成果低迷している	向上余地	2一定の成果向上余地あり					
指標種類1	指標名称1	単位	計画	24000	15500	15500	15500	-	事業費計	10,223	10,223	10,223	10,223	評価	新型コロナウイルス感染症対策のため一時休館したことなどから、来館者数が大幅に減少した。						
成果 + 70-	来館者数	人	実績	13247	8174	7436		国費													
			達成率	55.20%	52.74%	47.97%		その他	1,090	1,090	1,090	1,090									
指標種類2	指標名称2	単位	計画	150	150	150	150	-	事業費計	10,216	10,216	10,216	見直し方向性				方向1 このまま継続 方向2 方向3				
活動 + 70-	イベント、プログラム等の実施件数	件	実績	151	134	101		国費													
			達成率	100.67%	89.33%	67.33%		その他	1,090	1,090	1,090										
指標種類3	指標名称3	単位	計画	1000	1000	1000	1000	-	事業費計	9,126	9,126	9,126							見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3	
活動 + 70-	環境に関する活動支援件数・相談件数	件	実績	3176	1306	904		国費													
			達成率	317.60%	130.60%	90.40%		その他	1,090	1,090	1,090										
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	0.3	0.3	0.3	見直し方向性									
H15	予定・見込があれば記入		地球温暖化防止活動の実践促進をはじめ環境保全意識の高揚を図るために整備した愛媛県体験型環境学習センター(通称:えひめエコ・ハウス)の管理運営に要する経費及びセンターで併せて実施するエコライフ推進事業に要する経費である。					人件費	2,042	2,030	1,815										

5 環境影響評価制度推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい						
指標種類1	指標名称1	単位	計画	6	6	6	6	-	事業費計	1,358	1,370	1,364	1,304	評価	法における手続き上、知事が意見を述べるのが義務付けられており、法の対象とならない事業規模等のものについても、条例で同様に義務付けられていることから、県が実施すべきである。							
成果 + 70-	審査会の開催回数	回	実績	2	2	3		国費														
			達成率	33.33%	33.33%	50.00%		その他														
指標種類2	指標名称2	単位	計画	100	100	100	100	-	事業費計	1,358	1,370	1,364	1,304				見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3				
活動 0 70-	環境影響評価法及び愛媛県環境影響評価条例の規定に違反した事例数	事例	実績	100	100	100		国費														
			達成率	-	-	-		その他														
指標種類3	指標名称3	単位	計画					-	事業費計	584	395	498	498							見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3	
			実績					国費														
			達成率	-	-	-		その他														
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	1.5	1.5	1.5	見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3									
H11	予定・見込があれば記入		環境影響評価の結果等の審査を行う審査会の運営、公聴会の開催、環境情報の発信等のための機器整備等を行い、制度の適切かつ円滑な推進を図る。					人件費	10,209	10,149	9,075											

6 環境情報発信事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい						
指標種類1	指標名称1	単位	計画	13000	13000	13000	13000	-	事業費計	543	548	548	548	評価	事業が順調に推移しており、成果向上余地は小さい。							
成果 + 70-	えひめの環境HPへのアクセス数	件	実績	14548	18550	10018		国費														
			達成率	111.91%	142.69%	77.06%		その他														
指標種類2	指標名称2	単位	計画	200	200	200	200	-	事業費計	543	548	548	548				見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3				
活動 0 70-	愛媛県環境白書(年版)の発行部数	部	実績	200	200	200		国費														
			達成率	-	-	-		その他														
指標種類3	指標名称3	単位	計画					-	事業費計	406	374	426	426							見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3	
			実績					国費														
			達成率	-	-	-		その他														
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	0.3	0.3	0.3	見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3									
H14	予定・見込があれば記入		環境の状況及び県が環境の保全に関して講じた施策を明らかにした「愛媛県環境白書」を発行し、環境の保全に関する県民の理解を深め、県民の環境保全意識の高揚を図り、環境保全活動に参加する社会づくりを推進する。					人件費	2,042	2,030	1,815											

7 環境マイスター派遣事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	2成果低迷している	向上余地	2一定の成果向上余地あり						
指標種類1	指標名称1	単位	計画	2000	2000	2000	2000	-	事業費計	758	759	759	759	評価	新たにweb開催での派遣を取り入れてはみたものの、新型コロナウイルス感染症拡大により、約10ヶ月間派遣を全面中止したため低迷した。派遣の需要は、一定数あるため、アフターコロナ後の向上余地はある。							
成果 + 70-	環境マイスター利用者数	人	実績	2874	1244	150		国費														
			達成率	143.70%	62.20%	7.50%		その他	758	759	759	759										
指標種類2	指標名称2	単位	計画	60	60	60	60	-	事業費計	642	330	57	57				見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3				
活動 + 70-	環境マイスター派遣回数	回	実績	59	33	4		国費														
			達成率	98.33%	55.00%	6.67%		その他	642	330	57	57										
指標種類3	指標名称3	単位	計画	100	100	100	100	-	事業費計	642	330	57	57							見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3	
活動 + 70-	環境マイスター登録数	人	実績	110	108	107		国費														
			達成率	110.00%	108.00%	107.00%		その他														
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	0.2	0.2	0.2	見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3									
H13	予定・見込があれば記入		環境問題に関する講演会、学習会等において、自らの知識や経験を活用して講義、助言を行うことが出来る者を「環境マイスター」として登録し、環境保全活動に取り組もうとする地域環境活動グループ等からの求めに応じて派遣する。					人件費	1,362	1,354	1,210											

4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名

kk10

環境保全への取組みの促進

1 環境教育教材映像化事業費	コスト (単位：千円)					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	事業費計	国費	その他	県費	事業費計								
評価対象外の理由	0	0	4918	0	0	0	0	4,660	0	0	0	0	
単年度事業			0					0				0	
評価対象外その他の理由(記述)			4918					4,660				0	
			0					0				0	
									人役			0.2	
									人件費			1,210	
2 地域環境保全基金積立金	コスト (単位：千円) <th rowspan="2">R元年度</th> <th rowspan="2">R2年度</th> <th rowspan="2">R3年度</th> <th rowspan="2">R4年度</th> <th rowspan="2">コスト (単位：千円)</th> <th rowspan="2">R元年度</th> <th rowspan="2">R2年度</th> <th rowspan="2">R3年度</th>					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
事業費計	国費	その他	県費	事業費計	国費								
評価対象外の理由	0	0	1100	0	0	0	0	1,100	0	0	0	0	
単年度事業			0					0				0	
評価対象外その他の理由(記述)			1100					1,100				0	
			0					0				0	
									人役			0.1	
									人件費			605	

4-3 事務事業管理シート（新規事業）

予算施策名 **kk10** **環境保全への取組みの促進**

1 環境保全・自然保護団体連携強化事業費	コスト (単位：千円)		4年度
	予算	事業費計	
国費			0
その他			2,818
県費			0